

中野区は誕生90周年を迎えました

昭和7年(1932年)10月1日、中野町と野方町が合併して誕生した「中野区」。今年には区制施行90周年の節目です。当時と現在の中野の様子を写真でご紹介。未来の中野の姿を思い描いてみませんか。

広報係／4階
☎(3228)8805
FAX(3228)5645



宝仙寺(中央2-33-3)
境内にあった区役所



白鷺付近の妙正寺川



南台3丁目辺りの
農家

区内の古い写真を順次公開
「中野区ちいきの写真館」



図書館HPからご覧になれます。

▲こちらから
アクセス

おも 人・想い・未来

～区制90年。変わり続け、そして変わらない中野～

区長 酒井直人

10月1日、中野区は誕生90周年を迎えました。区の誕生当時、自治体としての権限はないに等しいものでした。1947年の地方自治法、1975年の区長公選制、2000年の地方分権一括法の施行などを経て、基礎的自治体としての自主性と自立性を高めてきました。自治権拡大の歴史でもあったと思います。

まちの様子も大きく変わりました。徳川5代将軍綱吉の時代、犬小屋があった中野4丁目。その一画に作られた警察大学校等の跡地には、大学のキャンパスや中野セントラルパークができ、学生、オフィスで働く方、親子連れなどでとても賑わっています。

今、中野駅周辺では大規模な再整備が進んでおり、4年後には新しい中野駅が誕生。2029年ごろ

にはシンボルタワーや新しいホールができるなど、まちは更に大きく変わっていきます。

一方、変わっていくまちを支えているのは、昔から変わらない、人のつながりと受容性です。私は30年以上前の大学生の時に、初めて中野で暮らしました。人の温かさや寛容さに触れ、中野が大好きに。それが今、中野区長として区政を運営していく原点となっています。今も変わらぬその良さは、中野区の財産です。区内には、年齢や国籍、価値観などの異なるさまざまな方が暮らしています。まちが変化し続ける中で、誰もが自分らしく、また誰一人取り残されることなく、安心して生活し、活躍できる中野を「オールなかの」で実現していきましょう。

催しの開催状況は事前に確認を

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントなどの開催が中止や延期になる場合があります。参加を予定している方は、事前に区HPで確認するか、各催しの担当へ電話などで確認を。

催しに参加する際は感染症の予防対策を

催しなどに参加する際は、マスクの着用やせきエチケットに協力を。発熱などの症状がある場合は参加を控えてください。

(せきエチケット)



次号予告

一輪車で魅せるキッズパフォーマー



なかの区報二次元コード

区内各家庭の郵便受けなどに配布しています
情報活用後は、資源として古紙の集団回収へ